

平成31年度

三沢市教育委員会
会 議 録

4 月 定 例 会

三沢市教育委員会 平成31年度 4月定例会

1 日 時 平成31年4月12日(金) 13時58分 開会
14時44分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	富 田 敦
委 員	立 花 肇
委 員	相 沢 靖 恵
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	本 江 宏

4 出席職員

教育部長	山 崎 徹
教育総務課 課長	高 橋 徳 孝
教育総務課 副参事兼課長補佐	種 市 明 人
学務課 課長	附 田 経 行
学務課 副参事兼課長補佐兼学務係長	川 井 克 子
学校教育課 課長	米内山 誠 毅
学校教育課 課長補佐	桐 原 賢 哉
生涯学習課 参事兼課長	小 泉 厚 子
生涯学習課 課長補佐兼文化振興係長	池 田 修
学校給食センター 所長	小 島 一 人
学校給食センター 所長補佐	山 本 智
教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)	今 村 多美代
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓

5 傍聴者 1名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 平成31年度4月定例会 議事日程

第1 開会

第2 会議録署名委員の指名

第3 会期の決定

第4 前回会議録の承認

第5 報告案件

報告第1号 平成31年度予算の概要及び事務分掌等について

第6 その他

第7 閉会

開会 13時58分

○日程第1 開会

■富田教育長

出席委員は定足数に達しておりますので、委員会は成立いたします。

ただ今から、平成31年度4月定例教育委員会を開会いたします。

お手元に配付してある議事日程により、会議を進めて行きます。

○日程第2 会議録署名委員の指名

■富田教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、立花委員と相沢委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○日程第3 会期の決定

■富田教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日12日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第4 前回会議録の承認

■富田教育長

前回会議録の承認についてお諮りいたします。

前回の会議録は、お手元に配付しております。お手元の会議録のとおり承認してよろしいで

しょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議がありませんので、承認といたします。

○日程第5 報告案件

■富田教育長

次に、報告案件に移ります。

報告第1号 平成31年度予算の概要及び事務分掌等についてを議題といたします。

事務局より説明を願います。

■教育部長

報告第1号 平成31年度予算の概要及び事務分掌等についてご説明いたしますが、1ページから6ページまでの予算の概要につきましては、各担当課長から説明をさせていただきますので、ご了承願います。

まず初めに、資料の7ページをお開きください。

三沢市総合教育会議で策定されました、平成34年度までを期間とした三沢市教育大綱でございますが、「確かな学力」の育成、「豊かな心」の育成、「健康で活力ある体」の育成の3つが、大綱の育成方針となっております。

次に、平成31年度の三沢市教育施策の方針といたしまして、三沢市教育振興基本計画のスローガン「夢の実現」に向けて、三沢市教育施策の8つの方針により、当市の教育施策を推進して参ります。

なお、三沢市教育振興基本計画は最終年度になることから、今年度計画の見直しを行い、新たな計画を策定いたします。

8ページからは、教育委員会事務局の機構に基づき、各課の組織体制及び事務分掌となっております。

別綴じで、教育施設災害及び事故発生時の

対応マニュアルを添付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思ます。

それでは、平成31年度当初予算の主なるものについて、教育総務課から順にご説明いたします。よろしくお願ひいたします。

■教育総務課長

資料の1ページをお開きください。

教育総務課担当のNo.1～No.12までをご説明いたします。

No.1、三沢市教育振興基本計画作成のための新規事業です。現在の基本計画の計画期間が平成31年度をもって終了することから、今年度中に次期振興計画を策定し、計画書を1,000部印刷するための費用です。平成31年度当初予算額は29万7千円となっております。

次にNo.2、教育長室カーペット張替のための新規事業です。教育長室のカーペットが経年劣化によって汚れやたるみが酷いため張替するための費用です。平成31年度当初予算額として40万3千円を要求しましたが、ゼロ査定となりました。

次にNo.3、4、学校図書管理備品購入のための新規事業です。学校図書館の本の貸出や管理をするソフトやパソコンなどの機器を購入するものです。このことにより本の貸出業務や管理が格段に効率化することが期待されます。平成31年度当初予算額は小学校分が111万3千円、中学校分が213万3千円となっております。

次にNo.5、6、図書備品購入のための継続事業です。学校図書を購入する費用として、当初予算額は小学校分が260万円、中学校分が250万円となっており、昨年度と同額の予算額となっております。

次にNo.7、吹奏楽部活動用楽器購入のための継続事業です。今年度は第五中学校の吹奏楽部が使用する楽器を購入するものです。年次計画を立てて計画的に購入してきており、当初予算

額は、314万2千円となっており、昨年度と同額の予算額となっております。

次にNo.8、教職員用パソコン借上げのための新規事業です。市内小中学校の教職員が校務で使用していたパソコンが古くなったため更新するものです。今回は購入していましたが、今回は5年リース契約として経費負担の平準化を図るものです。平成31年度当初予算額の要求額1,016万4千円に対し、251万8千円減の764万6千円となっております。減額理由としては、1年目のリース期間が12か月から9か月に短くなったためです。

次にNo.9、小中学校屋外便所新築のための継続事業で、今年度は木崎野小学校の屋外便所の設計を行うものです。平成31年度当初予算額は109万6千円となっております。

なお、昨年度は堀口中学校の屋内便所設置工事を実施したため、平成30年度当初予算額が1,751万2千円であることから、平成31年度当初予算額との比較では1,641万6千円の減となっております。

次にNo.10、小中学校暖房設備改修のための防衛省補助の継続事業です。経年劣化によりボイラーに不具合が生じてきていることから、年次計画をもって更新工事を行っているものです。

平成31年度から平成32年度の2か年計画で、第二中学校のボイラー改修を行います。2・8国債という財源を利用するため、31年度は工事、管理業務の契約のみを行い、32年度に工事を行います。平成31年度当初予算額は3,614万4千円となっております。

なお、昨年度は三川目小学校の改修工事を実施したため、平成30年度当初予算額が1億318万9千円であることから、平成31年度当初予算額との比較では6,704万5千円の減となっております。

次にNo.11、小中学校屋内運動場天井等落下防止対策のための、文部科学省補助の継続事業

です。屋内運動場(体育館)が吊り天井のため、地震発生時に落下の危険性があることから直貼りの天井に改修工事を行うものです。

今年度は古間木小学校と第二中学校の改修工事を行います。平成31年度当初予算額は1億7,933万6千円となっております。

なお、昨年度は上久保小学校と堀口中学校の改修工事を実施したため、平成30年度当初予算額が1億2,956万5千円であることから、平成31年度当初予算額との比較では4,977万1千円の増となっております。

次にNo.12、小中学校の営繕のための継続事業です。学校施設が経年劣化による破損、故障などの不具合等が生じていることから修繕や交換を行うものです。

主なものとしたしましては、上から4段目の上久保小学校屋外防水修繕ですが、これは特別支援教育センターが雨漏りをしているため、屋上の防水シートの補修を行うものです。

次に7段下の岡三沢小学校講堂床改修工事ですが、これは体育館の床が経年劣化により、ガタツキや段差、塗装面の剥離などがあることから、補修と再塗装を行うものです。

次に中段あたりの三川目小学校屋外露出配管電気設備工事ですが、これは受電設備、いわゆるキュービクルから校舎へ引き込まれている電源ケーブルを覆う配管が老朽化したため交換を行うものです。

さらに6段下の第一中学校高压変圧器交換工事ですが、これは古くなった高压変圧器の交換を行うものです。

平成31年度当初予算額は要求額6,203万7千円に対し、4,239万7千円減の1,964万円と大変厳しい査定結果となっております。

なお、平成30年度当初予算額が1,714万3千円であることから、平成31年度当初予算額との比較では4,489万4千円の増となっております。

また参考までに見え消しで、残念ながらゼロ査定となった案件を掲載しております。

教育総務課は以上です。

■学務課長

No.13からNo.15までが学務課の担当事業になっております。

No.13は、継続事業で、特別支援教育支援員についてです。三沢市内の小中学校の通常学級に在籍する特別に支援が必要な児童生徒の学校生活を援助するために特別支援教育支援員を配置するものです。平成31年度は、47名の支援員の配置を要求し、要求額は、4,055万円で、確定額も同額となっております。

次に、No.14、学習支援員の配置です。三沢市内の小中学校に在籍する児童生徒の学習指導を補助する学習支援員を配置するものです。平成31年度の要求は、昨年度と同様に6名の学習支援員の配置となっております。要求額は、615万1千円となっており、確定額も同額となっております。

続きまして、No.15、要・準要保護学用品費等援助費です。経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い義務教育の円滑な実施に資するものです。平成31年度の要求額は、2,499万8千円、確定額は2,272万円となりました。入学前支給を実施するため2年分の経費を計上しました。支給単価の引き上げも要求しましたが、認められず、227万8千円の減になりました。

学務課は以上です。

■学校教育課長補佐

学校教育課です。

当課担当分の3ページNo.16から4ページNo.23までを説明させていただきます。

No.16、総合的学習推進事業

国際理解教育の講師派遣費、小学6年生全員

を対象としたゆめ実現推進事業、いわゆる夢チャレ教室、調べものの学習用の教材として平成29年度から開始した新聞購読費等が、主なものです。当初予算は、30年度の482万4千円に対して、31年度の確定額は444万4千円と38万円の減額となっております。これは、昨年度は夢実現推進事業の会場として公会堂が改修工事で使用できなかったため、民間の会場を使用したわけですがこの会場費が不要になったことが主な理由となっております。なお、要求額に対して確定額が減じられたのは新聞購読費の増額が認められなかったことによるものです。

No.17、外国青年招致事業

中学校の外国語指導助手（ALT）の配置が主な内容となっておりますが、このALTは、英会話力向上や異文化理解のための中学生対象のイングリッシュキャンプなど多様な取組に活用しております。当初予算は、昨年度の780万7千円から、今年度の確定額930万3千円と149万6千円の増額となっております。これは、昨年度は2名のALTのうち1名が都合により退職し、補充できない期間がありました。但し、新年度はフルに2名体制となるため、人件費が増額となることによるものとなっております。

No.18、英語教育推進事業

国の教育課程特例校の指定を受け、全小学校で1年生から実施している英語活動科授業実施のための英語指導助手（AET）の配置や、中学生対象のイングリッシュキャンプの開催、中学3年生対象の英語検定料の補助等が主な内容となっております。当初予算は、昨年度の1,077万5千円から、今年度の確定額1,105万1千円と27万6千円の増額となっております。これは、国の学習指導要領が改訂され、平成32年度から全面実施されることに伴い、小学校の全教職員に配付している「英語教育指導計画V」や英単語集等の印刷費用や小

学生対象のジュニアイングリッシュデイなど英語教育セカンドステージに向けた費用の増額が主な理由となっております。

No.19、学校教育活動支援費

教師の指導力向上のため年2回の理数教育研修講座や研修主任研修講座等各種研修会の実施及び、陸上競技大会や理科研究発表会等市教育振興会行事の実施、中体連・学校保健会等補助金や負担金の補助が主な内容となっております。当初予算は、昨年度の802万3千円から、今年度の確定額995万6千円と193万3千円の増額となっております。これは、特色ある教育活動推進のための校外体験学習のための費用として学校規模に応じて各校10万円から20万円、計180万円の支援が認められたことが主な理由となっております。

No.20、豊かな心を育てる生徒指導活動費、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカーの配置・派遣、三沢市いじめ防止対策審議会開催に係る費用が主な内容となっております。当初予算は、昨年度の693万2千円から今年度確定額702万円と8万8千円の増額となっております。これは、豊かな心を育てる生徒指導連絡協議会で実施している「スマほっと標語ミニポスター」や「スマほっとポスター」の印刷に係る費用の増額によるものです。

No.21、教育支援・特別支援費

小学校、中学校の障害を有する児童生徒の教育措置について調査審議や、当該児童生徒に対する適正な教育支援の実施、特別支援教育関係の教材・検査用消耗品等を購入するための費用となっております。また、早期からの特別支援教育理解啓発のための研修会や保護者説明会も実施しています。当初予算は、昨年度の118万9千円から、今年度の確定額115万5千円と3万4千円の減額となっております。これは、教育支援に使う検査器具の購入が終了したことが主な理由となっております。

NO.22、指導費

学校教育課配置指導主事の資質向上のため、視察研修・会議等への参加や、各学校へ指導・助言のための指導主事派遣、教師用指導書である学校教育指導の方針と重点の作成・配布、児童生徒の学力把握のための諸検査実施が主なものとなっております。当初予算は、昨年度の892万1千円から、今年度確定額の770万6千円と121万5千円の減額となっております。これは、昨年度は小学校で完全実施となる「特別の教科 道徳」の教師用指導書及び教師用教科書を購入したものが今年度は中学校の更新の年となり小学校に比べて学級数が大幅に少なくなることが主な理由となっております。また、要求額に比べて確定額がさらに48万4千円の減額となったのは、残念ながら、要望していた道徳性検査の検査費用が認められなかったことが主な理由です。

No.23、教育相談室設置費

教育相談員2名、適応指導員3名による、不登校児童生徒の相談活動や、学校復帰を目指した相談活動及び適応指導業務の実施が主な事業となっております。当初予算は、昨年度の991万7千円から、今年度の確定額1,000万5千円と8万8千円の増額となっております。これは、主に相談員、適応指導員の報酬の増加等によるものです。

教育総務課は以上です。

■生涯学習課長

続きまして、生涯学習課所管事業 No.24 からNo.36までのうち主な事業3件についてご説明いたします。

初めに、No.24、市内遺跡発掘調査事業でございます。野口・早稲田貝塚の発掘調査が昨年度で終了したことから、今年度は業務委託による出土品の図化や科学分析等を進めて参ります。予算額の1,300万円は国庫及び県補助金分です。

次に、No.28、学校支援活動推進事業でござ

います。平成29年9月からスタートいたしました三沢版コミュニティスクールの中の地域学校協働活動事業であり、市内12の小中学校に、あわせて14名の地域コーディネーターがおります。予算額197万3千円は、ほぼ謝礼金でございます。今年度もこれまで以上に地域とのかかわりを進めて参りたいと考えております。

次に、No.32でございます。公民館改修事業となっておりますが、申し訳ございませんが、公会堂整備事業に訂正をお願いいたします。これは、最終処分場の受け入れ体制が整ったことから、高圧変圧器を交換する工事であり、予算額は416万2千円となっております。

生涯学習課は以上です。

■学校給食センター

学校給食センターは、資料のNo.37をご参照ください。

通常の運營業務に係る経費の予算措置となっております。給食日数は、202日で前年度と同じ、対象児童・生徒数は3,244人で前年度比89人の減となり、学校給食センター運営費としては、3億3,498万6千円で前年度比309万6千円の減となりました。

学校給食センターは、以上です。

■富田教育長

ありがとうございます。

それでは、部長を始め各課長からご説明いただきました事について、委員の皆さんからご質問等ございますでしょうか。

■立花委員

教育委総務課の2ページ、No.12小中学校の営繕事業で、予算が減ぜられていますが、随時補正予算等で要求していくのでしょうか。

■教育総務課長

計上している予算につきましては、継続して要求していきたいと思っておりますが、これ以外にも日々対応していく事案が出てきますので、限りある予算の中で優先順位をもって対応していきたいと思っております。

■立花委員

青文字が、減額された事業になりますか。

■教育総務課長

はい、そちらが、0査定になったものです。当初では30事業要求しましたが、査定の結果優先順位を決められ、減額されたという事です。

■富田教育長

その他ございませんでしょうか。

■黒沢委員

予算というものは限りのあるものですが、直接子どもたちに関わりのある部分が減ぜられたという事に大変大きなショックを感じております。特に先ほどの営繕事業といった部分に関しては、危険か安全かという事に大きく関わるところですから、そのような事に優劣がつけられた意味がどこにあったのかと、ショックです。

以前からもお話しておりますが、必ず建物というものは壊れてくるものだと思います。急に壊れるものも勿論ありますが、その予算が確実に確保されていないという事は、実際大きな事故が起きてしまってからでは取り返しがつかなくなるのではないかと大変危惧しております。

ただ、中には昨年度よりも予算を付けていただいている事業もありますので、十分に効果を発揮していただきたいと思っております。

■富田教育長

感想や要望という事で受け止めておきます。

その他、感想も含めてお願いします。

■相沢委員

最後の37番ですが、今後消費税が上がるお話もありますし、給食費を賄っていくうえで、材料費が高騰するという事も予想されますが、今回は、この予算の中で賄っていくという事でよろしいのでしょうか。

■学校給食センター所長

ご存じのとおり、10月から消費税が上がるという事で、賄材料費にも関係してくると思っておりますが、今年度は栄養士と相談・調整し、収入と支出に大きな差が出てくるようであれば、委員会において検討し、早ければ来年度から、給食費の値上げをしていかなければならないと考えております。

■富田教育長

その他、ございませんでしょうか。

(「なし。」と声あり)

それでは、ないようですので、報告第1号、平成31年度予算の概要及び事務分掌等についての報告は終わりいたします。

○日程第6 その他

■富田教育長

その他に移ります。

各課で委員に報告する事項がありますか。

■教育総務課長

新年度に入りまして、児童生徒のために善意が寄せられていますので、ご報告いたします。

4月4日に三沢地区交通安全協会様から新1年生のために交通安全ランドセルカバーをいただいております。

また、同日、株式会社三沢警備保障様から、

新1年生のために、連れ去り防止不審者対策啓発グッズであります「いかのおすし下敷き」、これらは、例年いただいておりますが、約340名弱の新入生全員に配れる数をいただいております。

以上であります。

■富田教育長

ただ今の、報告に対し、確認ございますか。その他ございませんでしょうか。

■学務課長

新年度がスタートしましたので、今現在の市内小中学校の児童生徒数についてお知らせいたします。小学校は、7校、2,096名、中学校は、5校、1,060名、合わせて3,156名となっております。昨年度の同時期と比較いたしますと、小学校は、23名の減、中学校は63名の減、トータルで小中学校86名の児童生徒数が減となったという現状です。

■富田教育長

ただ今の、報告に対し、確認ございますか。次回の定例会になると思っておりますが、5月1日現在の正式な届出の人数が確定しますので、ペーパーによりお示しできると思っております。

その他ございませんでしょうか。

ないようですので、その他については、終わります。

最後に各委員から何かございましたらお願いします。

■黒沢委員

4月8日に入学式が行われ、新1年生の登校が始まっていると思っておりますが、安全に登校しているのか、危険な事などなかったのか心配しております。いかがでしたでしょうか。

■学校教育課長

各校、保護者やPTA等の協力を得て、街頭に立って交通安全指導を実施しました。また学校教育課でもそれに伴って指導主事たちが、一緒に街頭に立ちましたが、特に事故等の報告等は、入っておりません。

■富田教育長

補足しますが、今週は、学校や関係団体で街頭指導や挨拶運動などを行ってまいりました。私も各学校をローテーションで、ご一緒させて頂きました。

夕刊にも掲載されていましたが、街頭に立られている団体の方々も、信号の無い横断歩道で車が止まると、ペコリとお辞儀をする子どもたちの良いところを大事にして、その伝統が受け継がれていければ良いと話しておりました。

その他ございませんでしょうか。

■相沢委員

年度初めで、委員会もメンバーが入れ替わり新鮮な気持ちになります。毎年、同じような行事がありますが、何でも例年どおりではなく、基本は踏まえつつも、見直しをする視点を持ち工夫していくと、よりよいものができると思っております。私も委員の立場で意識を持っていきたいと思っておりますので、事務局の皆さんにもそのような気持ちを持っていただけたらと希望します。

■立花委員

今年一年間よろしくお願ひします。黒沢委員の話もありましたが、データでは小学校6年生と1年生とを比べた場合、10倍位1年生の事故率が高いとなっているそうです。これからも1年生の事故がないよう徹底して指導していただきたいと思ひます。

■本江委員

はじめて、この様な会議で勉強させてもらっています。昨日別な会合があり、その席で家庭

が壊れて、家庭から色々な問題が起こり、子どもたちが不安になっていくという事が、心配されているというお話が警察の課長さんからありました。

我々は学校教育と言いながらも、家庭から起きる問題に目を背けてはいけないのではないかと、子どもたちが裏に抱える様々な問題等にも色々な入り方をした方が良いのではないかと感じました。これからも色々な勉強をさせていただければと思いますので、よろしく願います。

■富田教育長

以上で、日程は全て終了となりました。

これを持ちまして、4月定例教育委員会を閉会いたします。

5月定例会の日程ですが、5月22日水曜日午前10時に開催したいと考えておりますがいかがでしょうか。

ご了解ということでありがとうございます。

なお、この後、15時から本館4階の大会議室において教育委員会と校長会との合同会議を開催いたしますので、移動をよろしく願います。

閉会 14時44分

■会議録署名者

教育委員 立 花 肇

教育委員 相 沢 靖 恵

書 記 今 村 多美代